

南アルプス 甲斐駒ヶ岳

北沢

【日時】 2011年12月31日(土)～2012年1月2日(月)

【メンバー】 L田邊、福永、北沢

「2011年の年始に北アルプスに行ったから今年の年始は南アルプスに行きたいね。」福永さんと私はそう話すものの、自分たちの実力では北八ヶ岳が精いっぱい・・・そんなとき、田邊さんがご一緒してくださるとのことで見事に南アルプス・甲斐駒ヶ岳を目指すことに。

12月31日 晴れ

戸台駐車場からひたすら河原を歩く。特に話すこともせず、雪が付いた鋸岳を見つづろろとした岩の上を歩くこと2時間、丹溪山荘に到着。ここからは傾斜がでて山歩き。とはいうものの、雪は全くない。八丁坂を登りきると、雪が出てきただけでなく、甲斐駒ヶ岳を見ることができて私はテンションがあがった。足取りも軽くなり、あっという間に北沢峠へ。長衛荘でビールとおしるこを頂き、ベースキャンプとなるテン場へ到着。その日のシェフは田邊リーダー。白菜1/4やたくさんの肉団子はやはり、学生時代、体育委員会で体力が有り余ってる田邊さんだから持っていける具ですねと盛り上がる。

1月1日 晴れのち曇り

朝食を食べていると、明けましておめでとうございますと言う田邊さん。新年の挨拶も忘れて、佐貫さんから伝授したチーズリゾットを作ったにもかかわらず、味は微妙。佐貫さんの腕前はやはり凄腕なのだと再確認したのと同時に、今年の目標は料理の腕をあげようと決心。

アイゼンをはいて出発したが、雪の少なから仙水峠の少し手前でアイゼンを外す。仙水峠では日の出も見れたが、風が吹いていたのでもう少し上の樹林帯で休憩。樹林帯を登り、駒津峰に到着すると、甲斐駒ヶ岳が悠々





とそびえ立っている。思わず、ため息がでてしまったほど美しい。後ろを振り返ると、仙丈ヶ岳、北岳、塩見岳、鳳凰三山といった南アルプス山脈がきれいに見えた。

しかし、そこから私にとっては苦戦の連続。急坂を登ったり、下ったり。特に、アイゼンをつけて岩場を登るのは実践では初めてで、田邊さんから何度もアドバイスを頂き、やっとのこと

で登頂。富士山も八ヶ岳もきれいで感動した。しかし、問題は下り。さっき登ってきた岩場を下るのかと思うと怖いなと思っていると田邊さんがザイルを出してくださった。ザイルにつながっているからと思うと、恐怖感がきえ思っていたよりもスムーズに下山できた。駒津峰の手前でザイル片づけ、休憩後、おしゃべりをしながらベースキャンプを目指した。ベースキャンプに到着後、すぐさま宴の始まり。するめやら、薬膳鍋やら、締めにはプリンまでも頂き、満腹の状態で初夢の世界へ誘われた。

1月2日 雪のち曇り

目覚ましに気付かなかった私のせいで30分ほど寝坊。出発時間が遅れるものの、下りははやいはやい。おしゃべりをしていたらあっという間に、丹溪山荘に到着。2日前と異なり、岩に雪がしっかりついていて滑りやすかった。何度か福永さんと私は滑ったが、田邊リーダーは一度も滑らずさすがだなと思った。途中、行きの渡渉を避けて高まいたのだが、非常に歩きづらい高まきだった。しかし、無事に戸台駐車場に到着。一番好きな山が甲斐駒ヶ岳の私は冬の時期に、ましてや年越しに登頂できとっても嬉しかった。景色もお腹も大満足な山行でした。

【行程】

12/31 戸台9:30－丹溪山荘跡12:

00/12:20－北沢峠15:00/15:45－

BC16:00

1/1 BC6:20－駒津峰9:00－甲斐駒

ヶ岳10:40/11:00－BC14:30

1/2 BC9:30－戸台14:00

【地図】 甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳

